

札幌市議会議員

池田ゆみ

2023年8月号

市政事務所だより

【発行】日本共産党 池田ゆみ市政事務所 〒062-0904 豊平区豊平4条10丁目2-13高木ビル1階
【HP】 <http://www.yumi-ikeda.com/> 【電話】 818-8367 【FAX】 818-8368



市長選の結果を受け、 市長の政治姿勢を問う

池田市議は第2回定例市議会（6月12日～7月11日）で、日本共産党を代表して代表質問に立ち、冬季五輪招致、子育て支援、自衛隊への名簿提供などについてただしました。

冬季五輪招致はいったん中止に

池田市議は、「4月の市長選挙で秋元市長への批判票が4割に上った。これは、冬季五輪招致に対する市民合意が不十分なまま先走る市長の姿勢に対し、市民から厳しい批判が示されたもの」と指摘。
「選挙で示された多くの市民の『招致反対』の意思を受け止め、招致活動はいったん中止し、白紙にすべき」と問いました。

秋元市長は、「東京大会の一連の事案に起因する不信感や、大会の開催意義等への理解が十分に進んでいない現状



質問する池田市議

池田市議は、「子ども医療費助成は、全国で95%が中学生以上、うち5割は高校生までとなっているが、本市は

市長公約の具体化求める 子育て支援

池田市議は、JOCが2034年以降の大会を見据えるなら札幌を引き続き候補地と認めると決定したとの報道がなされるなど、市民が知らないうちに事態が進行し、立ち

秋元市長は、選挙公約で

「子ども医療費や保育料の無償化の対象を拡大」「学校給食費への公費負担をさらに拡大」などを掲げました。

池田市議は、「子ども医療費助成は、全国で95%が中学生以上、うち5割は高校生までとなっているが、本市は

北電に値上げ撤回要請

池田市議は、「オール電化の市営住宅で家賃より電気料が高くなり暮らせない。年金が電気代に消えていく」と、市民の切実な声を紹介し、値上げの撤回を求めました。

これに先立ち5月23日、日本共産党北海道委員会と札幌市議団は北電本社を訪れ、値上げ申請の撤回を要請しました。



要請書を手渡す池田市議

町田副市長は、「子ども医療費助成は全国一律で実施すべきものと認識。国に対し、制度化に向け要望を行ってき

拡大は、どのように、いつまでにすすめるか」と問いました。

榎田教育長は、「学校給食費については、(低所得者に対しては) 就学援助制度等において支援を行ってきた。今後の負担軽減につ

自衛隊への名簿提供やめよ

昨年札幌市は18歳と22歳の若者の名簿を自衛隊に提供しました。

池田市議は、知らないうちに名簿が提供されるのは納得できないとする保護者や、本人に知らされていないのはおかしいとする高校生など、不安や驚きの声があがっていると指摘。「名簿の提供をしなかった自治体もある。本人のプライバシー権の侵害にあたる可能性も高い。中止すべき」と求めました。

秋元市長は、「国のほうから住民基本台帳の一部の写しを提供しても問題ないとされている。提供については市のホームページ、広報で知らせる」と名簿提供を続ける考えを示しました。

いでは、必要に応じて関係部局と協議していききたい」との答弁にとどまりました。子ども医療費、給食費のいずれについても市長公約の具体化については語られませんでした。

これに対し池田市議は、「名簿を提供しないと法律上問題があるか」と問いま

した。秋元市長は「法律違反というわけではないが、自衛隊の役割に配慮して名簿を提供した。自衛隊法にも(市町村の) 協力がうたわれていて」と国、自衛隊に従う姿勢を示しました。

岸田内閣は43兆円もの軍事費を投じ、敵基地を攻撃できるミサイルの配備を計画しています。日本が戦争に巻き込まれる危険性が増しています。近年自衛隊員の応募者数は減少、定員割れが続いています。名簿提供はこの対策と見られます。本人が知らないうちに名簿を提供するなど、若者を戦争に巻き込む徴兵制の第

一步と言わざるをえません。

豊平区平和行進 核兵器廃絶・平和訴え

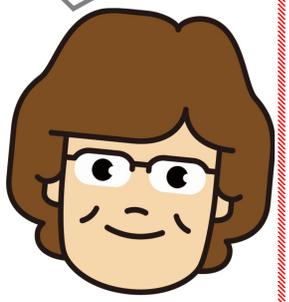
夏の広島、長崎をめざして全国を行進する国民平和大行進。5月7日に札幌島を出発した、北海道東京幹線コースが5月20日札幌入りしました。これに呼応し、同日午後、4年ぶりに10回目となる豊平区平和行進が行われ、美園生協前から地下鉄白石駅近くのやまびこ公園まで環状通りを行進しました。核兵器禁止条約の批准、平和憲法擁護を訴えるとともに、



やまびこ公園で、札幌島からの幹線コースのみなさんと

「ロシアはウクライナ侵略をやめる、岸田首相は戦争準備の軍拡でなく、戦争させない外交に努力せよ」と訴えました。やまびこ公園で池田市議は、「札幌市は平和都市宣言をしているが、これに沿った市独自の行動も必要。今日の行進のように、声をあげ、核兵器禁止条約を批准する政府をつくらう」と参加者へ呼びかけました。

こんにちは！ 池田ゆみです



4月の選挙戦をくぐり、初めての事務所だよりです。新しい任期がスタートし、あっという間に7月を迎えています。さっそく、第2回定例議会では、代表質問に立ち「コロナ感染症対策」、「学校給食費の無償化、子どもの医療費無償化を高校生まで」などの子育て支援、「自衛隊への若者の名簿提供について」など、選挙戦で訴えてきたことを質しました。

こうした3期目の議会活動をスタートさせることができたのも、改めて議会に押し上げて下さったみなさんのお力によるものです。今回の補正予算では、オリンピック招致費や駅前再開発への予算とマイナポイント申込の期間延長のための予算が多くを占めており、市長公約でもあった子育て支援の予算は、検討費すら予算化されていません。子育て世帯のみなさんは、がっかりしたのではないかと思えます。引き続き、公約実現に向け頑張ります。様々なご意見をお寄せください。

お困りごとは池田ゆみ市政事務所へ

物価高騰で家賃が払えない、学費が払えない、税金、保険料の減免ができないか、介護を受けたいがなど、お困りごとは池田ゆみ市政事務所 818-8367へお電話ください。

池田ゆみ市政事務所 (36号線きたえーるに入る角、接骨院隣) は平日の10時~16時の間開いています。

無料の法律相談会も毎月第3木曜日午後2時から行っています。弁護士が対応しますので、こちらは予約が必要です。818-8367へお電話を。